

会社概要

■ 会社概要 (2024年3月31日現在)

社名	古河機械金属株式会社
本社	〒100-8370 東京都千代田区大手町二丁目6番4号(常盤橋タワー)
電話	03-6636-9501
創業	1875年8月
設立	1918年4月
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	5715
従業員数	2,855名(連結)

■ 大株主(上位10位) (2024年3月31日現在)

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,994	10.73
朝日生命保険相互会社	2,373	6.38
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,348	6.31
清和綜合建物株式会社	1,935	5.20
株式会社川嶋	1,860	5.00
株式会社三光	1,090	2.93
古河電気工業株式会社	877	2.36
茜会	741	1.99
中央日本土地建物株式会社	687	1.84
株式会社ADEKA	663	1.78

(注1) 当社は、自己株式3,255,730株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。
(注2) 持株比率は、自己株式(3,255,730株)を控除して計算しています。

最新のIR情報や説明会動画はウェブサイトへ

当社ウェブサイトの「株主・投資家情報」では、最新のIRニュースやIR資料、経営方針等の情報を公開しています。「IR資料室」では、統合報告書や有価証券報告書、説明会資料など、アーカイブも含め掲載するとともに、直近1年の決算説明会や中期経営計画説明会の動画を質疑応答も含めて掲載しています。

- IRニュース(決算短信、適時開示等)
- 経営方針(経営計画、コーポレート・ガバナンス等)
- 業績の推移(売上・損益状況、セグメント状況等)
- 株主情報(株主構成、資本政策・株主還元等)
- IR資料室(説明会資料、統合報告書、有価証券報告書等)

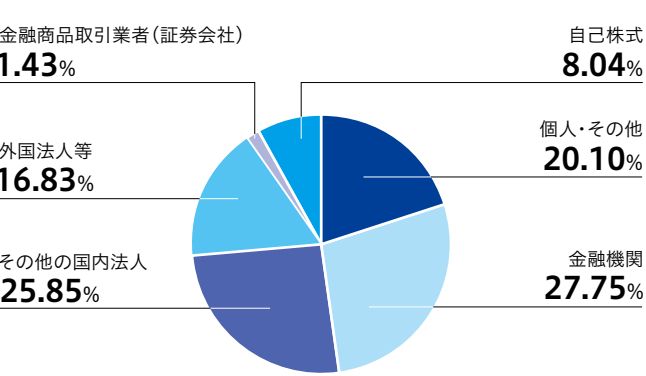
社会課題の解決に貢献する古河機械金属グループの製品を動画で紹介

社会課題の解決に貢献する当社グループ製品の特長や強み等を動画(YouTube)で紹介しています。ベルトコンベヤ編では、省人化や工期短縮などの効率性や環境に優しく安心・安全な土砂搬送を実現した優れた特性を紹介、トンネルドリルジャンボ編では、山岳トンネル工事現場での作業員の安全性や生産性向上を実現した各種製品を第三者評価とともに紹介、ミニ・クローラークレーン編では、クレーン車が入れない狭い場所や不整地、屋内など、世界中の様々な場所で活躍する事例を製品特長とともに紹介しています。ぜひご覧ください。

■ 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	40,445,568株
株主総数	17,199名
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

■ 所有者別株式構成 (2024年3月31日現在)



※ 役員の情報は、61～62ページに記載していますので、そちらをご覧ください。

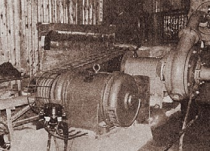


株主・投資家情報



【古河機械金属グループ製品紹介】

沿革

1875 (明治8)	新潟県で草倉銅山の経営を開始する(創業)	 当社グループの発展の礎は足尾銅山開発に始まります
1877 (明治10)	栃木県で足尾銅山の経営を開始する	
1900 (明治33)	足尾銅山に機械工場を設置し、機械部門へ進出する	
1914 (大正3)	日本で最初にさく岩機を製作する	 国産初のさく岩機は足尾で開発されました
1918 (大正7)	古河合名会社の鉱業部門を独立して、「古河鉱業株式会社」を設立する	
1944 (昭和19)	東亜化学製錬大阪製錬所を買収し、大阪製錬所として化学部門へ進出する 栃木県に足尾銅山機械部門の小山工場を建設する	 小山工場では、銅山で使用するポンプや鉱山機械などを製造
1950 (昭和25)	群馬県にさく岩機部門の高崎工場を建設する	 高崎工場ではさく岩機が量産され、さく岩機のトップメーカーとしての地位を固めます
1951 (昭和26)	大阪製錬所で酸化チタンおよび亜酸化銅の製造を開始する	
1962 (昭和37)	足尾製錬所で古河・オートクランプ式自熔製錬設備が完成する 高純度金属ヒ素の研究開発が完了し、99.999% 製品の販売を開始する	 銅鉱石の製錬段階で発生する副産物の一つであるヒ素
1987 (昭和62)	(株)ユニックを買収する	 車両搭載型クレーンの代名詞となっている「ユニック」
1989 (平成元)	社名を「古河鉱業株式会社」から「古河機械金属株式会社」に変更する	
1990 (平成2)	アメリカのプレーカ製造販売会社を買収する	 タイ・ラヨーン県に設立されたユニック部門の関係会社で、車両搭載型クレーンなどを製造
1997 (平成9)	タイにユニック製品・部品の製造会社を設立する	
1998 (平成10)	オランダにさく岩機製品の販売会社を設立する	 オランダ・ユトレヒト市に設立されたロックドリル部門の関係会社で、さく岩機などを販売
2001 (平成13)	群馬環境リサイクルセンターを設立する	

2003 (平成15)	中国にユニッククレーンの製造販売のための合併会社を設立する	 中国・山東省泰安市に設立されたユニック部門の関係会社で、車両搭載型クレーン車などを製造・販売
2005 (平成17)	中核事業を会社分割により分社し、古河機械金属グループとして経営体制の強化を図る	
2008 (平成20)	古河産機システムズ(株)が古河大塚鉄工(株)を吸収合併する	
2009 (平成21)	塗料の製造販売会社である(株)トウベを連結子会社化する	
2010 (平成22)	カナダの銅鉱山権益を取得する	
2011 (平成23)	インドにさく岩機製品の販売会社を設立する	
2012 (平成24)	ロシアにユニック製品の販売会社を設立する	
2013 (平成25)	(株)トウベの全株式を譲渡し、「塗料事業」から撤退する	
2014 (平成26)	東京・日本橋に「室町古河三井ビルディング」を竣工する フィリピンにコイル加工会社を設立する 研究機関を統合し、つくば総合開発センターを新設する	 商業施設(COREDO 室町2)、オフィス、賃貸住宅を有する室町古河三井ビルディング  フィリピン・ブラコン州に設立された電子部門の関係会社で、コイルを製造
2015 (平成27)	経営理念を刷新、「2025年ビジョン」を制定する	
2018 (平成30)	マレーシアにさく岩機製品等の販売会社を設立する	
2021 (令和3年)	本社機能を集約し、東京・大手町の「常盤橋タワー」に移転する 金属粉の製造販売会社である山石金属(株)を買収する	 TOKYO TORCHにある常盤橋タワー
2022 (令和4年)	パナマと中国にあるさく岩機販売会社2社の解散を決議する	
2023 (令和5年)	小名浜製錬(株)との委託製錬契約を終了する 栃木県にさく岩機製品の整備サービス会社を設立する	
2024 (令和6年)	カナダの銅鉱山権益を売却する	